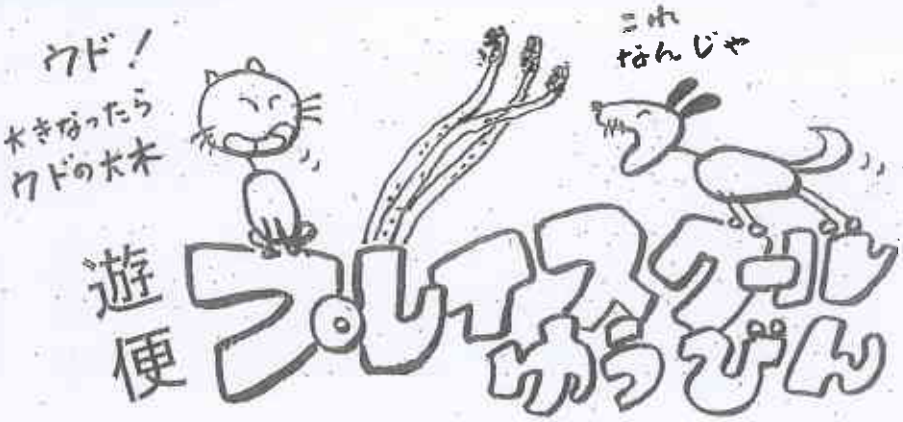
(財)プレイスクール協会
雑創の森プレイスクール
TEL:0774-63-0951
福岡プレイスクール
TEL:092-761-0592

2013
(No.379)

遊便プレイスクールゆうびん 3



アキミイケイジバン

自分たちで考えた遊び

「コタツでモグラ叩き」

二人で行う。一方がコタツの中に入り、モグラ叩きのモグラとして中から頭を出す。もう一方が座布団を丸めて、出てきた頭を叩く。お互いに挑発しあい、それに応えるように当てようとする。ふざけている感じと、挑発された苛立ちをぶつけるのがとても面白かった。その場の気分で適当に交代する。

「庭を宝石箱に」

家の庭に転がっている石に絵の具で色を塗り、乾いたら元の所に戻す。石を全部キラキラに塗りつぶし、家の庭を宝石箱のようにしたかった。石の数が多すぎるので、幼なじみの子にも手伝ってもらった。母を驚かせようと、こそこそとやっていたが、後で母が写真を撮っていたことがわかった。ばれていたのだ。

自分で決めるということ

今の子は自分でどのくらいのことを選択して、自分で方向性を定めているのでしょう。
本来自分でいろんな方向性を定めて、物や物事の選択をしているからこそ、失敗はしても選択ミスだったことを経験に置き換え、人のせいにすることなく、経験を生かして次に進めるのだと思うのです。
大切なのは自分の意識の選択です。自分で選んだというのが大切なのです。そこで責任感が生まれます。責任意識は自分の責任選択ですから「自分で選んだのだから、どうにか責任を果たさなくちゃ。」という責任意識が生まれます。
子どもが小さい時は親が選択してあげることが多いです。ところが、幼い時から子どもに選択をさせると、自分の選んだものに責任を持つようになります。それは好き勝手に決めさせるということではなくて、選択権を与えるということです。ましてや全てに子どもに責任を負わせるというものでもありません。
子どもが選ぶことによって、子ども自身に責任感が生まれるということになるのです。

話は若干違うのですが、自分で言ってしまって責任をとってる？というか、“言っちまった以上やるしかない”状態になることがプレイスクールでもあります。
プレイスクールではおやつの時間を活動の最後に設けています。（ここのおやつはお菓子っぽいものより、おかずっぽいものの方が多い。たとえば　ご飯のお好み焼き、子どもたちが作るおかずパン、大根の煮つけなどなど・・・・。）
遊んだ後はお腹も空いてるし、きょう一日遊んだ友だちとも盛り上がってるこも多かったりします。そんな時、一人の子が「今日のおやつおいしいね！！」と言ったら、なんとなくその流れ乗ってしまい、友達も、今まで食べたことがないものでも「うん、うまい！さいこー！」なんて言って食べたりします。あとでお母さんに聞いたら「えー！今まで私が作ったものは食べなかったのに。」と言われることは少なくありません。
これは　言った以上責任をとらなくちゃ、というのではなく、なんとなく流れの雰囲気にのってしまった、いい？相乗効果とでも言うのでしょうか.....。

最近は子どもが喜ぶような買い物や食べ物などの選択は子どもにさせていて、ちょっと難しかったり、子どもが選択するには時間がかかったりするものは親が決めてることが多いような気がします。

子どもにも物事をなるべく選択させ、それに対して責任を持つようにさせてあげたいものです。それが子どもの自立の一歩につながるのではないのでしょうか。

山本　直幸

ナースリークラス

節分の豆まきを このクラスでもやりました。まずは オニの お面に それぞれ 色を ぬって、かぶります。自分で かぶると 自分は 見えないので、トイレの 鏡まで 走っていって チェック!「オニさんになったー。」となんだか ニコニコ顔になって 走り回っていると、アラララ…。お面が だんだん 下がってきて 前が 見えなくなっちゃった子もいたりして、「修理、修理」と 調整して、再び 走り回りました。途中、ズレてくるのを 直すのが イヤになった子は、「持って帰る」と カゴに 入れてあそんだのでした。 さあ いよいよ 豆まき。「よこが 悪い オニになって、みんなが 豆で やっつけてね。」と 説明して、開始! なかなか コントロールが よい子ども達。オニに 命中! 逃げる オニを 追いかけて 豆を 投げていたら、何人か、ものすごく 悲しい顔に…。豆を 全部 投げて、なくなって しまったんですね。「拾って、また 投げて。」と 伝えて、でも、拾う、というところまで なかなか 気が まわらず、動きが 止まって しまった子も いたのでした。 そして その週に もう1度 豆まきを しました。すると、前回 やった子ども達は、投げたらすぐ 豆を 拾い始め、それを すぐ 真似して くれたので、この日 初めての 豆まきの子にも 説明は あまり いりませんでした。前回 拾えなかった子も 今回は 拾うことが できて、うれしそう。たくさんの 豆を 拾うことが できました。何でも 回数を 重ねる、って、ほんとうに 大切ですね。

<よこ>

幼児

遊びは流動的すぎて、何がなんだかわからないけど、ひらめきいっぱいでおもしろい

テーブルを使って"おうち"を作ろうとしていた2人は、うまくテーブルが運べず、おこった顔になっていました。2階のプレイルームに、ウレタンマットを敷いている為、すべりが悪く、テーブルを引っぱっても動きにくかったのです。それに気付いた子が持ちあげようとするのですが、ひとりの方は引っぱっているので、なかなかうまくいかなかったのです。「1、2、3、でもちあげたらいいよ。」とアドバイスをしたら、とっても簡単にテーブルが運べたので、「エッコ、ありがとう」って。おれを言われる程の事でもないのに…と思いながら「どういたしまして」と言ったあと、私も心がほっこりしました。

その後、おうち作りは人数が2人から4人…あっという間に10人に増え、人が増えるごとに思いや希望やこだわりも増え、あっちでダメ!!、こっちでダメ…とトラブル続出!!

もともと広いスペースじゃなかったので、あとから入ってきた子に別の所で作るのをおすすめしたら、それもイヤ!!って。なんとか折り合いながらお家作りをしていると、1人の子が、紙ガムテープを小さくちぎって玄関になる予定の所にペタペタと貼りつけていました。それは、おばけをつかまえるしかけだったのです。

ほんの少し前までは、ダメ!!と言っていた子も**おばけ**という言葉で気持ちがひとつにまとまり、そこのお家は、ガムテープのすだれをいっぱいつけることに決まりました。

気を付けなければ…と思いつつまんまとつかまってしまい、子ども達の団結力は強まりました。(やられた。)このおばけとりホイホイは途中から大人とりホイホイに変更された様です。

ちょうどその時 窓の外に人影が… (改修工事の職人さん)
「おばけ???」「どろぼう??」と、見立て遊びの上手な子が
盛りあげようとすると、「工事の人よ」って 冷静な声。 そんじゃ…
と、すぐに ひらめいた子が、ダンボールと新聞紙の棒で
スコップを作り、砂場へ直行!! あっという間のことだったので、ひらめいた子について行き、何をするのかを見学しました。その子は砂を自作のスコップで掘っていました案の定すぐに壊れたので、友達が砂場用のスコップをさしだしましたが、「大丈夫 大丈夫」と笑いながら、また作りに行ったのでした。よく分らないけれど、なんか楽しそうと思った子も、スコップ作りになり、さっさと作って、砂を掘ったら こわれるごっこを何度も繰りかえしやって、大笑いをしていました。

その頃、2階のプレイルームでは あき家になったお家を独占して、平和な家族ごっこがおこなわれていました。砂場の遊びが一段落して 2階に入った元のお家のオーナーが、**「ぼくのおうち!!」**と自己主張したら、家族ごっこのお母さんが「仲間に入れてって言わんといかんとよ。」と…。すると自己主張していた子も素直に「なかまにいれて☺。」「いいよ。☺」って。 そしてすぐにニコニコ顔で家族ごっこは続けられたのでした。 いいのかな?と思いましたが、その後も楽しそうに遊んでいたので、問題なし!! 家族おかあさんの一言は説得力があるんだなと…、改めて思いました。 そうこうしている内に 片付けの時間になりました。「ゴミ10個ね!!」と言うと、みんなは、バタバタとゴミ拾い ~ あれ? 「お母さん、ゴミを拾ってよ。」と言うと、「この子(ぬいぐるみ)が泣いてるから手がはなせないの」あららら… すみませんが、家族ごっこの続きは、次回にお願いしますよ。(記)

家族ごっこでも

小学生水曜日クラス

ちょび

縄跳びが盛り上がっている

水曜日の子たちはなぜか来るなり、「なわとびどこ？」と言って縄跳びを始める。学校でも縄跳びをしているのかもしれないが、最近子どもたちの方から「何回跳んだか書いて。」と言うので、記録をしてあげるようにした。

しかし他人と自分を比較すると、高学年や縄跳びが得意な子が多く跳ぶことになるので、プレイスクールでは自分の記録にチャレンジ！ということで、自分の記録を塗り替えたら記録の更新を書いてあげることにした。

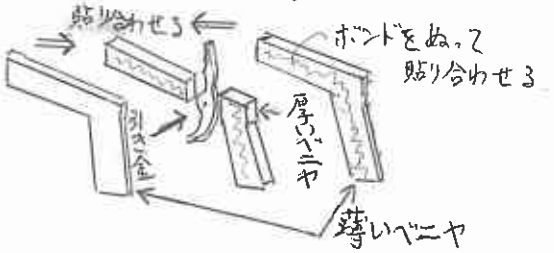
するとほとんどの子が縄跳びを少しずつやるようになり、最近では毎回のように誰かが縄跳びをしていることが多い。その記録を窓に貼ってるのを見て、幼児クラスの子どもたちも「それなん？」「縄跳びで何回跳べたか書いてると。」というと「ぼくもする。」「わたしもする」と少しずつプレイスクールの縄跳び人口が増えてきたのだ。

（大人の人たちも縄跳びダイエットを遂行してみては?きついけど、いい汗を流せますよ。）

木工が好きな子どもたち

水曜日クラスの子はけっこう低学年も工作が好きな子が多い。フェルトやフリースで人形や小物を作ったり、空き箱で自由に宇宙船やビル的なものを作ったり、木で剣やピストル、コリントゲーム（ビー玉コロコロゲーム）などを作ったりしている。先日は高学年の子が引き金が動いて輪ゴムを飛ばせる鉄砲を作りたいと言ってきた。「それってけっこう難しいよ。時間かかるけど、作る？」と言うと「うんいいよ。」というので、引き金つきの鉄砲を作ることにした。薄いベニヤ２枚で中の厚いベニヤをサンドイッチする形で作るのだが、木工ボンドが乾くまでに１回で終わらないので、２週かかって完成させた。電動糸ノコを使い、うまい具合に切って張り合わせ、引き金部分を可動できるように釘で支点をピンで刺し、輪ゴムで引き金の戻りを引っ張るのだ。

完成したその銃を見て、他の子も同じものを作りたくなり、現在何人かがそのピストル作りにチャレンジしているのだ。



月2クラス

今回は2週にわたっての活動。1週目はみんなで遊ぶために製作からだ。

今回作って遊ぶのは、「凧」 凧の中でもオーソドックスなダイヤ凧を作る。材料は、ビニールを使用。まずはビニールをダイヤの形に切って、原型を作る。凧は対称形が基本。型はよっこが作ってくれた。・・・と、凧を作るその前に、イメージカードをまず描こう。みんな、「3枚やろー」と模様をみてパッパッと描いてしまった。さすが、頭が柔軟だなぁ。

さぁ、イメージカードが終わったところで、ダイヤの形のビニールに、それぞれ好きな絵を描いて思い思いの色を塗る。みんな下絵にする本を選んだり、絵の題材を考えたりとどんな凧を作るか真剣に考えていて、こっちとしてもどんな凧ができるのか楽しみに見守る。

決まった子から絵を描き始める。「僕、歴史上の人物の絵を描く」「僕は恐竜！」「ワンピースの絵を写そうかなぁ」「スヌーピーにしよう♪」とそれぞれ描く絵が決まったようだ。
下絵をもとに描く子、写す子、オリジナルの絵を描く子、少しずつ形が見えてくる。空に上げた時に映えるように色もきれいに塗っていく。絵も色にも個性が出て、オリジナルの絵はもちろん、同じような題材を選んだ子たちも仕上がりは、一つ一つ表情が違うものが出来上がっていた。

出来上がった凧を見せてもらうと・・・徳川家康がいたり、ポケモンがいたり、翼竜やスヌーピー、ルフィに卑弥呼・・・って卑弥呼ですか！と、それぞれの個性が出た凧が出来上がった。あとは竹ひごを組んで、糸を調整しながら張るのだが、今日の作業はここまで。組み立てと調整、そして飛ばすのは次回のお楽しみだ。

集中して作った後は、体を動かしてリフレッシュ。屋上でドッチボールをしたり、2階で縄跳びをしたり、鬼ごっこをしたりと思いっきり遊んで過ごした。

おやつ(みかんとバナナ)を食べながら、みんなが描いたイメージカードを発表。みんなが描いた楽しい絵を見て、いっぱい笑ってこの日の活動は終了。

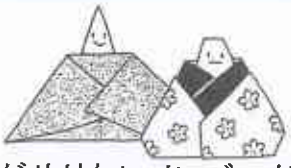
次回、お天気になって、みんなが作った世界に一つだけの凧が大空に飛ぶとこを楽しみにしてます。

(まさし)

工作クラブ

ちょっといつもより立体的な魚釣り”をしようよ。と釣り堀を作り釣る物を作り始めました。今回の釣り竿には磁石を使い、魚にはクリップを使いました。平面なのじゃないのを書こうと本を持ってきてみたけれど、いまいちいい感じにならなかった時に、6年生の女の子が、海賊船をパパッと切りぬいたら…。みんなの目がキラッ☆「ワンピースやん！」と急いで本棚からマンガ本を持ってきて、宝箱、鍵、さらにまた海賊船、悪ーい顔の大ダコ…。などどんどんできあがってきました。ちゃんと帆のところがとびでていたり、鍵穴がちゃんと立体的になっていたりと工夫もなされていました。　が、ここで問題発生。ちょっと大きく作った物が、重くなってしまい、磁石の釣り竿にくっつくものの、持ち上がらず落ちてしまう…。「あのさ、2人とか3人で一緒に釣り上げたらいいんちゃない!?」と、クリップをあっちもこっちもつけて、1つの物を同時に釣りあげるという作戦に。これが見事大成功!!　この作戦で協力しながら釣りあげたのですが、だんだんくっつきすぎて釣り糸がカラまってしまい、今度はそれが大変に…。しばらく外すのに時間をかけていましたが、もうかなりのカラまり具合に、これは、もう一旦休止。砂場で宝探しへと変更。さっきの海賊船の裏にビー玉をくっつけて、埋めて、堀り起こしたりして楽しんだのでした。〈よっこ〉

手芸クラブ



手芸クラブのメンバーは、人数も減りほんとうに手芸がやりたいメンバーが残ったという感じです。やりたい手芸があるというのはいいことなのですが、もっとおもしろい活動を考えなければと思う今日この頃です。

最近みんながやっている手芸は、やはりフェルトで作るマスコットはとても大好きです。手芸の本からの抜粋で作りはじめて、ほぼ完成まで全部自分で仕上げてしまいます。

いつも作った作品は、誰かにあげたりしているのか、それとも取っているのか気になったりもしますが、手芸の腕前が上手くなっているのは確かです。

ほかにも、小物作り(コースター、しおり、小物入れ、などなど)それぞれセンス良く、女の子らしいすてきな物に仕上げているのを見ると、ここでも、手芸に磨きが掛ってきているのを感じます。

そして、ときにはバック作り、チャック付きのポシェットなど、面倒なところもある縫い物も、ミシンを使いこなして挑戦しています。

上級生が好きな手芸に、ミサンガがあります。手芸クラブも長くしていますが、やはりミサンガ人気は衰えません。ストラップのようにして使ったり、お友達にプレゼントしたり、しているみたいです。

編み物や毛糸のマスコットや原毛パンチングのマスコットも、人気の手芸です。

などなど、いままでやってきたことをざっくり書いてみましたが、こういう手芸もやりつつ、お友達同士で遊んだり、体を動かすことが少ないクラブなので、手芸の時間とバランスよくおもしろい遊びの時間ももっともっと増やしていける活動内容にしたいです。そして、これからもみんなの笑顔がたくさん溢れるようにしたいと思います。

2/23(土)は、新１年生の体験日で、工作クラブと合同活動となり幼児クラスのお友達が手芸クラブにも参加しました。いつもよりにぎやかにおやつのパン作り、ひな人形作りをしました。途中からネットに乗って、総勢２０人ぐらいの子供たちが乗っている状態でかなり激しい揺れのなかでアクティブな遊びになりました。

たみ

やきゅうクラブ

２月、風が厳しいこの時期も、子どもたちは元気いっぱい。早く公園に行こうと催促だ。ただし、この日はいつもと違うことが・・・。この日でしばらくプレイをお休みになる高学年が２人。野球が大好きでいつも最初から最後まで野球をしようと言っていた。「今日は俺の引退試合だー」とプレイに来た瞬間から全力で楽しもうとテンションMaxだった。いつもなら、野球クラブといえども、他の遊びを通して野球の練習だぁと言うところだが、今日は練習もそこそこに思いっきり試合をすることにした。低学年の子も、意味はよく分かっていないけど、憧れのお兄ちゃんがいなくなることは分かっていて、みんなそれぞれその時間を楽しもうとしていた。試合は、「今日は引退ホームランを打つ！」と力が入っていたせいか、なかなかバットに当たらず。そのたびに「あーあ」と落胆の声とがっくりうなだれるその子たちの姿。それを見て、プレイの野球でも全力で打ち込めて、全力で楽しんでいる姿に、笑いながらもちょっと感動。こういうまっすぐなところそのままに、頑張ってほしいなと感じた。

それはそれとして、試合はというと少し大味な試合展開。かなりの点差が開いてしまい、結果よりも個人のプレイに重きを置くことになっていった。守備は、いかにかっこよく捕ってボールを投げるか、打つほうはもちろんホームラン。一つ納得のいくプレイがあるたびに、ガッツポーズや笑顔が見られ、他の子もそれを見て歓声を上げる。打つほうはというと、一人は途中でホームランを打つことができ、もう一人は最後の打席で念願のホームランを打つことができた。合間に、１年生の子に教える姿、それを素直に聞いてる１年生。結果が出て、嬉しそうなその子と満足げな高学年。もっと野球をしていたい！の気持ちは伝わってきたが、プレイに帰る時間になりゲームセット。

名残惜しいけど、帰ろうというと、「最後に勝負して！」と懇願。少し帰りが遅くなるけど・・・よし、１０球ずつ勝負だ。その勝負の中でどうしても納得のいくホームランが打ちたい。こっちも打ってほしい・・・そんな空気の中での勝負だが、なかなかうまくいかない。それでも、一人の子は特大のホームランを打ち、低学年の子も「すげー」の一言。その子も満面の笑み＆饒舌になっていた。それを見たもうひとりの子。余計に力が入る。バットには当たるが、なかなか思うような打球が飛ばない。しかし８球目。大きな当たりが！勢いは間違いなくフェンス越え。入ると誰もが思った瞬間、まさかの木の枝に阻まれ、打球はグランドに戻ってきた。結局、最後までフェンス越えはできず終了。

がっかりしながら、プレイへの帰り道、「でも、当たりはよかったよね」と一言。「当たりはホームランだったね。入らなかったけど、引退するなってことじゃない？」「・・・夏休みとかは来れるかもだからそのときかな」などと話ながら帰った。

いつもいる子がいなくなるのはさみしいけど、色んな可能性を野球の中だけでもいっぱい見せてくれて、これから待っている様々なことへの期待もすごく感じることができた。また、それを見てきていた下の子も何かを感じ、また成長するんだろうなぁと思った一日だった。さみしくなるけど、プレイはいつも変わらずあるから、また遊びにおいで。その時はホームランを打てるといいね。

（まさし）

自転車クラブ

ちょび

１月から新しい自転車クラブが始まり、メンバーも多少変わってきた。２月に入り男子は４年生が多くなり、女子は逆に5,6年生が多くなった。
まだ自転車クラブに慣れない子も何人かいるし、最近はそんなに遠くまで出かけることはないが、３月末には６年生の卒業自転車旅行も予定しているし、自転車クラブの3,4,5年生の子たちも１泊２日は一緒に走りたいので、これから少しずつ距離を伸ばしていこうと考えている。

えっ！？今日は大濠公園？

２月の始めに、「よし！今日は海の方に行こう。」と言うことで、伊崎浜（当仁の海側の浜）に向かって出発、途中大濠公園を通ることに。
大濠でちょっと休憩。公園の池にウミネコがいっぱいいたので、休憩してる間に餌を買って鳥や池の鯉たちにあげることにした。餌は二人に一袋を分けるようにして、それをあげた。
餌を投げたらすごい勢いで集まってくるウミネコたち。それを楽しんで「空中で餌をキャッチした！」とか「こっちに少しずつおびき寄せようぜ。」とか作戦を考えながら餌を与えるのをひととき楽しんだ。
そのあと「そろそろ海のほうに行こうか？」と言うと「今日はここで遊ぼうよ。」と子どもたち。「ここって、大濠公園で？」「うん。くじら公園の滑り台でアリ地獄ごっこしよう！」（くじら公園の横幅 15mぐらいある横広い滑り台。“アリ地獄ごっこ”とは、鬼が上にいる人を引きずり下ろして、鬼を交代するという遊びだ。）「じゃあ海に行かんとや？」と言うと、「今日はちょっと寒いから今度にしようよ。」と子どもたち。「えー！こんな近い場所でいいと？」と言うと「うん！」と嬉しそうな返事。（自転車クラブの子たちは、けっこう大濠公園の滑り台で遊ぶのが好きなのだ。）ということで、大濠公園で遊ぶことになった。
その日は新人の子も数人いたので、始めはルールがわからない子もいて、弱い子や、自分の友達ばかりを狙っておもしろくなくなりかけていたが、そのうち少しずつルールが飲み込めてきたようで、強い子を狙うと少しおもしろいことがわかり、勇気を持って強い子も狙えるようになり、盛り上がったのだった。
そのあとは公園の一段上の広場でドッジボールをして楽しんで帰ってきたのだった。
そして、その日は海の方に行けなかったので、次の週に百道浜に遊びに行こう、ということになったのだった。

雪遊びにいってきたよ！

２月９日（土）～11日（月）にかけて広島芸北の方に雪遊びに行ってきました。

今年もまたまたラッキーなことに、子どもたちが出発する２日前の早朝　雪が降ったので、もみの木荘の前のゲレンデも雪が積もり、ソリも充分楽しむことができました。スキーの方も宿泊所のもみの木荘から40分ほど離れた、芸北のホワイトバレースキー場に行ったのですが、そこは降雪機がないので、雪だのみで（降雪機がないのでボーダーには人気がなく、子どもたちのスキーにもってこいの場所）、２日前に降ってくれたおかげでやっとリフトが動いたということで、ここもラッキーでした。

おかげで、初日からソリもスキーもガンガン滑れたし、その日の夜は、通称“ランタン祭り”もすることができました。

２日目の朝は６時半からカンジキを履いて森を散歩しました。うさぎの足跡を見つけたり、森の雪のなかにドバッ！と埋まって遊んだりと楽しみました。その日はホワイトバレーに行き、全員がスキーをしました。そしてなんと、ほとんどの子が滑れるようになったのでした。すごい！パチパチパチ！

３日目の帰る前には、ちょっと雪が解けかかった中、短い時間ではあったのですが、雪上運動会でヘンテコ競技にはしゃぎまわり、雪のなか汗をかいて遊んだ後、むこうを出発したのでした。

カンジキを履いて森を散歩

ソリをした後はかまくら作りだ

こんなに高いとこまで来ちゃった

雪でランタンをつくろう！

きれいな雪のなかのろうそくの灯

雪上運動会の綱引き。滑る、滑る

子どもっておもしろい!!

戦え！イクメンジャー！

♪チャカチャカチャ～ン、チャカチャカ…イクメンジャーは普段はごく普通の会社員だが、ひとたび家庭に帰るとカジブンタン・イクメンジャーに変身するのだ。愛する妻と子どもたちとの幸せな暮らしを守るため、ミルク作りにお風呂入れ、寝かしつけに夜泣き番、食器洗いに洗濯たたみ、何でもこなすスーパーマン、イクメンジャーは今日もゆく！…♪

■見た目よりも中身と継続

先日、知り合いの出版社からフリーペーパーの配布に協力してほしいといわれ、「京都イクメン図鑑」なる小冊子を配るお手伝いをした。カラー刷りのなかなかしっかりとした冊子で、京都在住の子育て世代の若いパパが何人か紹介されているのだけれど、これがみんなおしゃれでカッコいいのだ。

男性が育児に参加協力すること自体は大賛成だし何の異論もない。でも育児がおしゃれでカッコいいというイメージで啓蒙することもよいのかも知れないが、実際に大切なのは育児の中身、関わり方ではないだろうか。さらにいえば子育ては育児という期間だけで終わるのではなく、これから先まだまだ続くのだし、いまはカッコいいパパたちのお腹がビール腹になり髪の毛がさみしくなっても子育ては終わらないのだ。次号の冊子ではそんな先輩おとうさんの経験から紡ぎだされた含蓄深いお言葉も紹介してもらいたいものだ。何っ？画像的には「使用前使用後」みたいだって！いえいえ、イクメンパパはいつも「使用中」です！

■今年もやっぱり「初天神」

落語に「初天神」という噺があるのをご存じだろうか。休日の男が女房に子どもを押しつけられて年明け最初の天神さんの市に遊びにやって来る。いろいろな店をみては、あれ買ってこれ買ってという子どもを何だかんだといいくるめ「だから、おめぇを天神さんになんぞ連れて来るもんじゃなかった」と毒づいていたが、凧屋で凧を買う羽目になってしまう。子どものおもちゃと高をくくっていたものの、いざ遊びだすと昔取った杵柄か、大の大人が子どもそっちのけで熱中してしまうというお話しだ。

実は今年もこれと同じような光景が、お正月恒例の凧上げ大会で繰り広げられられていたのだった。子どもたちのためといっしょに凧あげをしていたものの、元来飽き症で目移りしやすい子どもにとって、凧糸を持ってじっとしているなんてことはできない相談なのである。結果的、子どもたちは友だちと河原を走り回って遊んでいて、お父さんたちばかりが空に泳ぐ凧を見ながらにこにこしているのだった。

落語では最後に子どもが愛想を尽かして「まったく、おとっつぁんなんぞを連れてくるんじゃなかった」というのだが、はたして凧上げに興じるお父さんを見て、子どもたちは何を感じていたのだろう。実はボクが小さかった頃にも同じような経験があり、豆粒のように小さくなったやっこダコとそれをあげている親父の背中をいまだに覚えていたりするので、きっと今の子どもにとっても一生ものの思い出になったではないだろうか。いやゼッタイそうだと信じたい。

■ついにきたか「おとうさんといっしょ」

いよいよというか、待望のといおうか、あの超長寿番組「おかあさんといっしょ」のイクメン番「おとうさんといっしょ」が始まるという記事が新聞に載っていた。世の中のイクメンブームが、とうとうＮＨＫも無視できないところまできているということなのだろう。それにしてもどんな内容になるのだろうか。「歯磨きくちゅくちゅ…仕上げはおとうさん」などではあまりにもおかあさんといっしょの二番煎じという批判をまぬがれないだろうから、ここはひとつイクメンパパが録画してでも見たいと思うような内容にしてもらいたいものだ。子どもをダンベルのようにしたエクササイズで、お父さんの運動不足を解消するとか、正しい三輪車の整備の仕方とかはどうだろう。そして何より大事なのが歌のお姉さんの存在だ。はたしてＮＨＫが誰を起用するのか、それによってこの番組の人気が大きく変わることだろう。個人的には歌わなくてもいいからぜひとも壇蜜さまにご登場いただきたい。それ次第でブルーレイレコーダーの購入に踏み切らねばとさえ考えているのだった。

（京都・雑創の森プレイスクール　福山記）

福岡プレイスクール 2013 年　3月度予定表

日	月	火	水	木	金	土
					1 ナースリー 幼児	2 午後　小学生クラブ
3 	4	5 ナースリー 幼児	6 小学生	7 ナースリー 幼児	8 ナースリー 幼児	9 小学生　午前クラス 小学生　午後
10	11	12 ナースリー 幼児	13 小学生	14 ナースリー 幼児	15 ナースリー 幼児	16 午後　小学生クラブ
17	18	19 ナースリー 幼児お泊まり会	20 春分の日で小学生クラスはありません。	21 ナースリー 幼児	22 ナースリー（おやつ会） 幼児	23 小学生　午前クラス 小学生　午後クラス 4 時から六年生を送る会
24	25	26	27 小学生 水曜日クラス お出かけ	28	29 6 年生卒業 自転車旅行	30 6 年生卒業 自転車旅行
31 6 年生卒業 自転車旅行	◎毎年恒例の“やよいまつり”は改修工事が終わったら、新たな形で企画しようと思っています。もう少々お待ち下さい。 ◎23 日(土)　4 時からは　小学生全クラスで、“六年生を送る会”をします。 ◎プレイスクールは 4 月からの新年度準備のため 3 月 26 日(火)～4 月 2 日(火)までお休みとなります。 ただし、27 日の小学生クラスと、6 年生の卒業旅行は、この期間に行います。 ◎新年度は 4 月 3 日からです。(各クラスのおしらせ参照) ◎図書は、春休みまで貸し出します。(保護者も 2 冊までOK！)　返却は、4 月 10 日(水)までにお願いします。 ◎年度末になりました。会費をいつまで支払ったか判らなくなった方は、えっこまで！					